

大阪・関西万博における広島県ブースの出展について

1 要旨・目的

大阪・関西万博において、国内外からの来場者に向けて広島県の魅力を体験・体感してもらう場を提供することにより、本県への観光誘客を図るため、広島県ブースを出展することとしており、出展内容の検討状況を報告する。

2 概要

(1) 出展期間

令和7年8月5日（火）から8月9日（土）

(2) 出展会場

ギャラリーEAST（約300m²） ※自治体等の催事のために主催者が用意した会場

(3) ブース名

- タイトル：RE:WORLD HIROSHIMA
- 副 題：被爆80年—いのち輝き、おいしいがあふれる広島のピース&エナジー
～こころ、からだ踊る体験から見つける未来へのちから～

(4) 出展内容

- 国内外から訪れる来場者に向け、人類初の原子爆弾投下から復興を遂げた広島の溢れるエネルギーと魅力をアピールする。
- ブース全体には、食、自然、産業など、多岐にわたる広島の魅力をテーマに特別に制作した、カラフルなキャラクターたちが登場し、来場者を迎え入れる。
- ブース内はメインコンテンツを中心に、エナジーゾーン（「ひろしまは美味しさの宝庫」の発信）とピースゾーン（平和に関する発信）の2つのゾーンを設ける。
- 観光PR動画や、県内全域マップを活用した体験型コンテンツ等によって、県内市町の魅力発信を行う。
- （一社）広島県観光連盟のSNSやスマホアプリと連携し、ブース来場後においても、継続的に観光情報を提供できるようフォロワー・登録者を増やす。

【メインコンテンツ】～広島の復興から現在を「デジタル×インタラクティブ」で体験～

- ・被爆から復興、そして今の広島の魅力の一連のストーリーを、大画面のプロジェクション映像と音楽で体験できるコンテンツを設置。（手を上げるアクション等によって、音を鳴らしたり、キャラクターを動かしたり、身体全体でエネルギーあふれる広島を体感できる。）

【エナジーゾーン】～「美味しさの宝庫」である広島の「おいしい」を体験～

- ・ブース全体に登場するキャラクターと連動させ、広島ならではの豊かな「食文化」を、歴史や風土、食べ方などから知っていただく展示を実施。
- ・会場内での飲食について制限がある中で、本県への来訪を促すために、広島の「おいしい」を、視覚・聴覚・嗅覚で体感できるコンテンツや、映像を駆使し、広島の飲食店を紹介するコンテンツなど、来場者の食欲をそそる体験を提供。

【ピースゾーン】～広島の被爆の歴史と平和への想いに触れる～

- ・被爆の実相、復興の歩み、広島県／へいわ創造機構ひろしま（HOPe）の平和の取組の紹介に関する展示に加え、原爆投下前後の広島の様子を疑似体験できるVRゴーグルを設置。
- ・SNSを活用し、折り鶴を通して平和のメッセージを世界に発信する「#未来へのおりづるキャンペーン（HOPeが令和3年度から実施、令和7年度で5年目）」と連携し、平和への想いを形にする「折り鶴ワークショップ」を実施。
- ・8月6日の広島原爆の日には、広島県で開催される国際平和のためのユース対話イベントを万博会場でも配信予定。

(5) 予算額（案）

令和6年度：9,401千円

令和7年度：41,982千円

(6) 事業目標

広島県ブースの来場者数：12,000人以上

【参考】イメージ画像

〔全体イメージ〕



〔メインコンテンツ〕



※ 『ピースゾーン』『エナジーゾーン』のイメージ画像調整中